



塚田委員長(中央)と秋光副委員長(右端)が村長室にて杉岡村長に報告書を提出しました。

## 環境回復検討委員会 検証結果の報告書を提出

1月10日、飯館村環境回復検討委員会が、検証結果を報告しました。同委員会は、村の諮問を受け、長泥地区内で「土地活用スキーム」を活用して避難指示解除を目指す区域について、除染状況の確認などを進めてきました。報告書は同日の会議を経てまとめられ、塚田祥文委員長(福島大学教授)、秋光信佳副委員長(東京大学アイソトープ総合センター教授)が、空間線量率低減の状況などについて、検証結果を報告。合わせて、さらなる環境回復に向けた提言も行いました。



美しい歌声ややさしい音楽が彩る絵本の世界に引き込まれ、子ども達の表情が輝いていました。

## 音楽で広がる絵本の世界 「絵本ライブ」を開催!

1月25日、飯館村教育委員会が、交流センター「ふれ愛館」で、『絵本ライブ』を開催しました。昨年に続く3回目の開催で、絵本ライブユニット「にじのかなた」による冬や節分にちなんだ読み聞かせや歌遊びを楽しみました。ライブでは、子どもも大人も全員で歌や掛け声、ダンスに参加して、さまざまな絵本の世界に親しました。



訓練には飯館分署、村消防団、村教育委員会、村文化財保護審議会などから約50人が参加。写真は放水訓練。

## 綿津見神社で消防訓練 第71回文化財防火デー

飯館村教育委員会等関係機関の共催により、1月26日、綿津見神社で『文化財防火デー消防訓練』を実施しました。今回は、神社後方の林野からの出火を想定し、初期消火や避難誘導、重要物品の搬送訓練を行った他、消防団・飯館分署による一斉放水訓練も行われました。「文化財防火デー」は、世界最古の木造建築物「法隆寺」の金堂壁画が焼損した昭和24年1月26日をきっかけに定められました。文化庁と消防庁が協力して、この日を中心に、全国で文化財防火運動を展開しています。

## 戸田建設の皆さんから こども園へカメラの寄贈

12月20日、戸田建設株式会社東北支店の皆さんから、までいの里のこども園にデジタルカメラ6台が寄贈されました。贈呈式では、飯館村作業所長の中村隆浩さんが「このカメラで笑顔や元気な姿を撮って、家族と一緒に見てほしい」と子ども達へメッセージを伝えました。園児達はお礼にクリスマスの歌を披露し、元気いっぱいの歌声と笑顔で感謝を伝えました。戸田建設株式会社からの寄贈は、一昨年、昨年の絵本に続き、今年で3回目となります。素敵なプレゼントをありがとうございました!



いただいたカメラを囲んでみんなで集合写真。たくさんの笑顔を撮影していきます!

## 全国農業共済組合連合会から 感謝状が届きました

全国農業共済組合連合会(NOSAI全国連)から飯館村へ、感謝状が届きました。農業経営収入保険制度における保険料等の助成を行い加入促進に協力したことに対する感謝状です。12月23日に、福島県農業共済組合(NOSAI福島)の濱須弘伸理事らが村役場を訪れ、三瓶真産業振興課長に感謝状を伝達しました。

濱須理事は改めて感謝を表し、「災害が多発し農業を取り巻く状況は厳しい。転ばぬ先の杖として制度を活用いただきたい」と話していました。



濱須理事(右)と三瓶課長。「生産者の備えに村として協力してきました。感謝状をいただけるとは驚きです。」

## 交流センター「ふれ愛館」にて 令和7年飯館村消防出初式

1月5日、交流センター「ふれ愛館」のホールで、『令和7年飯館村消防出初式』が行われました。式には、飯館村消防団77人、役場消防隊8人、女性消防隊7人の計92人が参加。関係機関の代表も臨席しました。杉岡村長はあいさつで、災害が多発する現状に触れ、危機管理体制を常に見直し洗練することの重要性を語り、「その先頭に立つ存在として東日本大震災の経験と学びを生かし備えていただきたい」と一同を激励しました。また、式の後には、優良団員や永年勤続の表彰も行われました。



杉岡村長、赤石澤傳団長(飯樋町)らによる観閲は交流センター「ふれ愛館」の駐車場にて行われました。